

令和6年度前期 東予東中学校学校評価結果と改善策

西条市立東予東中学校

【学校生活】

○ 生活

「楽しく学校生活を送ることができている」の項目では、肯定的な意見が生徒96.6%、保護者93%、教職員の肯定的意見も100%となっており、ほとんどの生徒が楽しく学校生活を過ごすことができている。一方「いじめやいたずらでいやな思いをしていない」の項目では、肯定的な意見の生徒は93.5%、保護者79.9%である。生徒同士のトラブルは教職員の目の届かない所で起こることが多い。これまでも、休み時間や昼休み等、生徒の様子を見守り、嫌な思いをさせる言動を見掛けたらその場で注意や声掛けをし、生徒の様子の変化を早めに察知するようにしてきたが、十分でないことを表している。今年度から、全校教育相談の時間を定期的に確保し、生徒の悩みや不安によりその機会を増やしているが、今まで以上にアンテナを高く張り、生徒が安心して日々の学校生活を送っていけるようにしていきたい。また、「いやな思いをしている」と回答する生徒は4.3%、保護者13%と差が大きくなっている。これは、生徒が家庭で学校生活の様子を話し、保護者がしっかりと子どもの声に耳を傾けていることの表れで、親子関係が良好であることがうかがえる。保護者との連絡を密に取り、生徒の学校生活の様子をしっかりと伝えることが保護者の不安軽減につながると考えられる。生徒の小さな変化や気付きに対応できるよう努力していきたい。

○ 学習

学習に関して、教員のアンケートで「教材を工夫し、生徒に分かりやすい授業の展開を行っている」についての肯定的回答は91.3%となっている。全国学力状況調査や定期テスト等にもICTを活用する機会が増えた。ICTの利点を生かして積極的に活用することはもちろんであるが、デジタルとアナログを上手に組み合わせ、生徒に学習内容が定着できるように指導改善に努めたい。

「分からないところを先生や友達に相談している」では、90.2%の生徒が分からない問題について解決を図ろうとしている。これまでに取り組んできた「学びあい学習」の効果が表れており、特に班活動や生徒同士での相談活動では意欲的に会話をする姿が見られ、学習内容の理解につながっていることが考えられる。しかしながら、保護者22%が「そうは思わない」という結果である。解決を図ろうとしているが、十分な定着に至っていないとも考えられる。学習内容を定着させるためには授業1時間の「ねらい」を明確にし、振り返りの時間を確保し、生徒の理解度の把握と支援に努めていきたい。

「落ち着いた雰囲気での授業ができている」では、生徒の肯定的な意見は71.4%、保護者81%、教員95.6%であったが、生徒の否定的な意見は22.9%となっており、アンケート項目の中で最も大きな数字となっている。これにはクラスごとの授業態度に差があることが考えられるが、生徒が夢中になれるような授業が展開できるような授業づくりに励みたい。授業中の取組が十分でなかったり落ち着きがなかったりする生徒への対応として、真剣に授業に取り組むことの意義を理解させ、その場での指導を徹底していく必要がある。また、教科担任が早く教室へ行き、授業の2分前着席、黙想で静かに授業に入る雰囲気づくりを継続させたい（教職員100%）。

○ 情報公開

保護者の87%が「ホームページや学校だよりをよく見ている」と回答している。ホームページはほぼ毎日更新

しているが、今後も内容をより充実させ、様々な面から学校生活の様子を発信していき、地域から信頼される学校づくりの一翼を担いたい。

○ 部活動

「部活動は日々充実し、自分のためになっている」の問いに、実感していると答えた生徒が86.8%、保護者81%だった。部活動を通して専門種目の技能を伸ばすことはもちろんのこと、精神面での成長も後押しできるように、これからも活動していきたい。また、顧問が部活動中だけでなく、準備段階の練習前や下校時門を出るまでの確認を行い、安全や人間関係の様子を見守る体制も継続していきたい。

【家庭生活】

○ 挨拶

本校の重点目標の一つとして「明るい挨拶」を掲げているが、83%の保護者が、生徒たちは地域でよく挨拶をしていると感じており、生徒たちも94.3%が挨拶をしていると答えている。校内でも生徒会が中心となって挨拶運動を行っているが、このような活動も挨拶の励行につながっている。今後も活気のある学校の雰囲気をつくり、地域とのつながりを大切にする生徒の育成に努めたい。

○ 進路

「家庭で学校の様子や将来の進路、生き方について話をしている」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒が77.4%おり、保護者のアンケートでも、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は合わせて87.6%だった。3年生は進路選択が近付いているため、保護者と相談する機会が多くなっているが、1年生はまだ進路について考える機会が少なく、将来について漠然としている。小学校から連携しているキャリアパスポートを活用するなど進路について折に触れて、1年時よりキャリア教育を充実していく必要がある。

○ 学習

「家庭学習の一日平均時間」についての生徒の回答は、2時間以上が15.4%（昨年度17%）、1時間以上2時間未満は41.4%（同47%）、1時間未満は35.7%（同32%）、していないは7.4%（同4%）であった。昨年度に比べて家庭学習の時間が減少している。また、今年度の全国学力状況調査でも、家庭学習の時間は全国や愛媛県平均を下回っていることが分かった。家庭学習減少の理由は様々考えられるが、その一つとして、ゲームやスマホの過度な使用があると思われる。「家庭でゲーム機やスマホの利用についてのルールや約束ごとを決め、守っている」の項目では、12%の生徒が「そう思わない」（保護者38.3%）と答えている。使用過多になることで学習時間が削られて学力が下がっていったり、睡眠不足になることで体調が整わなかったりする。使用のルールを守り、トラブルを未然に防いでいくよう、保護者と連絡を取り合いながら指導していきたい。加えて、家庭での学習習慣が定着するように、教師側も宿題の質の向上等、工夫や改善をしていきたい。

○ 交通

「交通ルール（登下校中の並進をしない・ヘルメット着用等のルール）を守れている」については、生徒・保護者の97%以上が高い評価をしているが、教職員のアンケート結果では39.1%である。本年度、自転車での事故が多発（特に1年生）している。基本的な交通マナーを今一度確認するとともに、事故が起こりやすい場所や、生徒が危険な横断をしているところなどを中心に見守り、事故を未然に防ぎ、交通ルールや交通マナー向上を目指し

ていきたい。

○ 朝食

「朝食は毎日とっている」については、3.2%程度が朝食をとっていないという現状である。健康は「早寝・早起・朝ごはん」と言われるように、生活リズムを整え、健康的な生活を送るためにも、生徒全員が確実に朝ごはんを食べて登校できるように家庭に協力をお願いしていきたい。

前期のアンケート結果の反省を生かし、生徒の問題を早期に把握できるよう、アンテナを高く張っていきたい。学校生活の様子を見守りを日々継続し、必要に応じて保護者や関係機関、地域にも協力をお願いして指導していきたい。